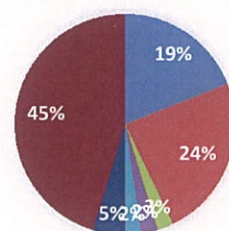


第3回 西尾市「はあと」在宅ケアチームカンファレンスアンケート

Q1. 職種を教えてください

| 職種       | 職種別参加人数 |
|----------|---------|
| 看護師      | 8       |
| ケアマネージャー | 10      |
| Dr       | 1       |
| 介護支援専門員  | 1       |
| 保健師      | 1       |
| 介護福祉士    |         |
| 薬剤師      | 2       |
| 未記入      | 19      |
| 合計       | 42      |

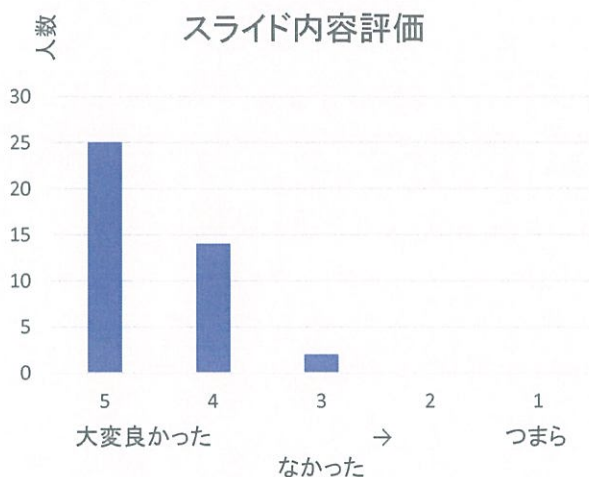
職種別参加人数



Q2. 本日のスライドの内容は、いかがでしたか？

| 評価          | 段階 | 人数 |
|-------------|----|----|
| 大変良かった<br>↑ | 5  | 25 |
|             | 4  | 14 |
|             | 3  | 2  |
|             | 2  |    |
| つまらなかった     | 1  | 0  |

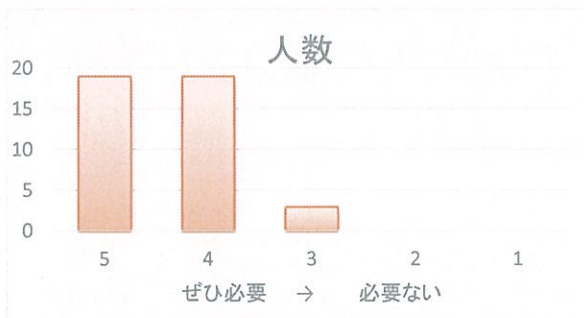
スライド内容評価



Q3. AdovanceCarePinningは今後の在宅医療・セアが必要だと思いますか

| 評価        | 段階 | 人数 |
|-----------|----|----|
| ぜひ必要<br>↓ | 5  | 19 |
|           | 4  | 19 |
|           | 3  | 3  |
|           | 2  |    |
| 必要ない      | 1  |    |

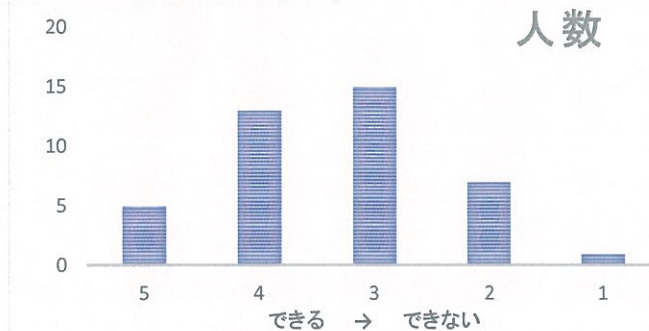
人数



Q4. 実際にあなたが、患者/利用者・家族からACPIについてきくことができると思いますか。

| 評価       | 段階 | 人数 |
|----------|----|----|
| できる<br>↓ | 5  | 5  |
|          | 4  | 13 |
|          | 3  | 15 |
|          | 2  | 7  |
| できないと思う  | 1  | 1  |

人数

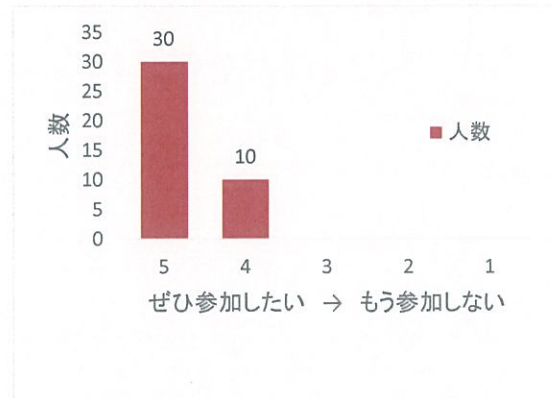


Q5. 西尾市でACPを普及させていくにはどのようにしたらいいでしょう、意見をお聞かせください。

別紙参照

Q.6 次回のカンファレンスに参加されますか

| 評価      | 段階  | 人数 |
|---------|-----|----|
| ぜひ参加したい | 5   | 30 |
|         | 4   | 10 |
| ↓       | 3   |    |
|         | 2   |    |
|         | 1   |    |
| もう参加しない | 未記入 | 1  |



# 別紙

Q5 西尾市で ACP を普及させていくにはどのようにすればいいでしょう、意見をお聞かせください。

・本人の意思は聞けても家族の介護力、経済面等でなかなか希望通りには行かないが、なるべく本人の意思を尊重してあげたいと思うが、医療者としては強い主治医の先生から在宅での看取りが十分にできることをしっかり話して頂き、家族の思いを変えていけると良い。ACP の普及させるには、先生だけでなく他の介護に関わる方の中で情報共有して、ACP を取っていければ、どの職種の方からでも ACP をすすめて行けるような関係性を作るべきだと思う。ACP をとって終わりではなく、それをしっかり利用していかなければ意味がないので、上手く利用していきたい。

・宮崎先生の最後のお話がとてもしっかり胸にしみました。

・ターミナル期で在宅医に移行する時、タイミングで説明するのはいいのではないかと思います。

・対話していく力をつけることなので実践していきたい。

・ケアマネの理解が重要だと思いました。

・西尾市全体での普及を考慮すれば、核となる組織の存在が必要かと思います。在宅医療サポートセンターがひな形を作成し、西尾市居宅介護支援専門医連絡協議会と連携して進めていくことがベストかと思います。

・まずは関係者の親族から ACP について健康なうちに考えてもらい、その人から少しづつ輪を広げていくようにする。

・ドナーカードのように知らせていくことも良いのではと思います。

・周知、啓発

・広報に載せてもらう。

・聞く人、それをフォローする人、関係づくりが大事だと思う。

・介護保険申請時に記入してもらえると普及できると思います。

・医療で関わる時点で実施できればよいと思うが、意思表示できない状態であった場合を考えると難しいと思われるので、外来受診、健診でこんなものがあるという事を知れば良いと思う。

・主は医師が中心となって普及することが大切だと思うが、ケアマネ、看護師が協力して患者さんと家族と話し合っって意見の統一をすることも必要で、もっと早い時期から考えていく必要があると思います。

・持っている病気等でも状況でも違うと思う。本人、家族が少しイメージが持てる、話のきっかけにしやすい言葉や内容だと良いのではないか。どうしても今決めてしまうような内容に記入する本人に思わせないものでもよいのではないか。考えやすい内容。

・いざという時の終末に聞くよりも、元気なうちに聞けると良いですね。人の気持ちは常に変わります。その都度聞いていけたら良いと思います。

・多職種で話し合いを多くもつようにする。

・一般の方への講演会等を行ったり、啓発することを行うと良い。

・アンケートではないが、良いツールとして利用し、連携などできるといいと思います。

・宗教的な面もあるのかもしれませんが日本の生活の中で「死」が近くないことも原因の一つかと思う。子供の頃から生きること死ぬことをもっと考えられると良いなと思いました。宮崎先生が言ったツールとして利用することから始められると良いと思う。

・ACP についての講演など知る機会をもうける。

・西尾市内の病院で統一し、患者様に声掛けしていく。

・時々勉強会を開催。

・まずは研修会等で存在を知ってもらうことがいいのではないかと思います。